

Course number		U-LAS14 20047 SJ68								
Course title (and course title in English)		細胞生理学ゼミ A Seminar A for Cell Physiology			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,ISHIHARA AKIHIKO			
Group		Natural Sciences		Field(Classification)		Biology(Issues)				
Language of instruction		Japanese		Old group		Group B		Number of credits		2
Number of weekly time blocks		1	Class style		seminar (Face-to-face course)		Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Mon.1		Target year		Mainly 1st & 2nd year students		Eligible students		For all majors
(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)										
[Overview and purpose of the course]										
体を構成する細胞・組織・器官の基本的な構造や働きについて学習することを目的とする。そのために、関係する先行論文を講読したり、組織標本を使用して細胞の具体的な仕組みや働きを理解する。特に神経細胞(脳と脊髄)、筋細胞(骨格筋)、骨細胞の機能と構造について考察することにより、それらの細胞や組織が健康・体力の維持や増進、病気の発症や予防にどのような関わりを持っているのかを考える。										
[Course objectives]										
体を構成する細胞・組織・器官の構造や働きを理解する。それらを勉強することにより、疾病の発生や運動による適応のメカニズムを知ることができる。										
[Course schedule and contents]										
下記の内容について授業を行う。スライド、VTR、組織標本などを使用して授業を行う。授業の内容は下記の通りである(1課題あたり1~3週の授業を予定)。 1.細胞の構造:細胞の基本的な構造について解説する。(1回) 核、ミトコンドリア、細胞膜など細胞を構成する要素について解説する。 2.血液:血球、血漿、血液型、血液性状について解説する。(2~3回) 3.神経細胞:神経細胞の構造と働きについて考える。(2~3回) 脊髄の神経細胞を3タイプ(gamma, alpha, slow, fast)に分類して、タイプごとの特性を解説する。(2~3回) 4.筋細胞:筋細胞の構造と働きについて考える。(3回) 骨格筋の筋細胞を4タイプ(I, IIA, IIB, IIC)に分類して、それぞれの特性を解説する。(2~3回) 5.骨細胞:骨細胞の構造と働きについて考える。(3回) 破骨細胞、造骨細胞の特性を解説する。 6.まとめ:全体のまとめを行う。(2回)										
[Course requirements]										
履修希望者多数(31名以上)の場合には、無作為抽選により履修制限を行う。										
[Evaluation methods and policy]										
成績は、出席(50点)とレポート(50点)の両方で評価する。なお、出席およびレポートの両方の条件(ともに30点以上)を満たさないと単位を認定しない。出席率とレポートでの評価の詳細は下記の通りである。 毎回の授業で出席の確認を行う。2/3以上の出席で最低出席回数(単位を認定する条件)とする。										
Continue to 細胞生理学ゼミ A(2)										

細胞生理学ゼミ A (2)

出席を偽る行為、それを手助けする行為があった場合は、1回の行為で3回の欠席があったものとして取り扱う。出席回数にしたがって50点満点で評価する。

授業期間中に3回のレポートを課す(授業中にレポート課題について連絡する。さらにクラスにレポート課題を掲載する)。単位の認定には、3回のうち2回以上のレポート提出が必要となる。インターネット、書籍、他学生の成果物などからの単なる書き写しによりレポートを作成した場合は評価しない。レポートの内容を確認して50点満点で評価する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

次回の授業には、前回の授業の内容が関係している。したがって、前回の授業の内容を復習して理解しておくことが大切である。

[Other information (office hours, etc.)]

理系・文系のどちらの学生も履修できる。

[Essential courses]